

涌谷町  
WAKUYA TOWN



わくや



広報

# わくや

W-A-K-U  
W-A-K-U  
W-A-K-U-Y-A



わくや

涌谷町  
WAKUYA TOWN

2  
Feb. 2019

No.763



成人してもずっとわくわく—





# 平成31年浦谷町成人式 新成人105人が出席 平成最後の成人式

1月13日(日)に、浦谷公民館において、平成31年浦谷町成人式が執り行われました。

この日、成人式に出席したのは、平成10年から平成9年にかけて生まれた105人(男性53人、女性52人)。

開式前は、久しぶりに会う友人たちとの再会を喜ぶ若さあふれる姿でしたが、式には成人としての自覚を感じさせる凛々しい表情で臨みました。



**「責任」ある社会人として**  
式では、代表の2人が二十歳の抱負を述べました。その一部を紹介します。

### 桐生麻莉子さん(口区)

私は現在大崎市松山の酒造会社に勤めています。社会人として日々先輩方に多くを教わっている途中ではありますが、働くことの大変さややりがいを知ることができました。専門的な知識を学んでいくことで仕事の幅が広がり、それに伴い臨機応変な対応が必要になることが増え、日々の仕事をこなしていく中でどうすればうまくいくのか、どうしてそうなるのか、失敗して終わるのではなく同じことを繰り返さないようにするにはどうすればいいのか、常に考え続けています。今年は後輩もできまだまだ教わる立場でもありますが、同時に教えるという経験もしています。どうすれば分かり易く伝えることができるのか、試行錯誤の途中ではありますが、自分の経験を伝えられるようにしていきたいと思います。今年私たちは成人を迎え晴れて大人へと仲間入りを果たしました。二

十歳になりできることも増えていきます。これまで以上に責任感を強く持ち生活していきたいと思っています。

### 中澤一樹さん(太田区)

私は長期休み以外ほとんど家に帰ることがなかったため、地元に対する思いが薄くなってきていることを感じていました。しかし、久しぶりに地元に戻り顔を出すと先日までいたかのように家族や地域の方々は温かく迎え入れてくれました。その時、私は中学卒業までの約15年間、どれだけこの地元を愛され育てられてきたのかを痛切に実感しました。また、この町で自分の根源となる思想や経験が積み重ねられ、今の自分があるということを忘れてはならないと強く心に思いました。  
今の努力は自身の礎となり良い方向に向かっていくと信じていますし、目標を見失わずに向上心を持ち耐え抜く力が私たちに宿っているはずですから。この一人一人の思いや努力が浦谷の発展や、家族・地域の方々への恩返しに形となつてつなげていくものと思っています。



# 新成人にこれからの「わくわく」を聞いてみました



Q. どんな社会人になりたい?

A. いつでも頼られる人

Q. 二十歳になり  
誰に感謝している?

A. 親と友人に感謝!

Q. 二十歳の抱負

A. 涌谷町や支えてくれた  
皆さんに少しでも恩返し  
ができるように  
がんばりたい!

Q. 今の夢は?

A. お客様を笑顔に  
してあげられる  
美容師に!

Q. 今後の涌谷に望むこと

- A. より住みやすい  
まちづくり
- A. 皆さんと交流できる場  
があると良い
- A. 若者が住みたくなる町
- A. 若い力で地域を  
もっと活性化

Q. 涌谷のここが好き!  
こんな思い出が!

- A. 人が温かい
- A. 自然が多いところ
- A. 城山でのお花見が  
印象に残っています
- A. 自然が豊かで、  
ごはんがおいしい!

(左上)小島聖奈さん(3区)(左下)桐生麻莉子さん(11区)(右上)中澤一樹さん(太田区)(右下)及川真由さん(猪岡区)

- ① 希望に満ちた表情で成人としての「責任」を誓う
- ② 涌谷町町民憲章を唱和し見せた成人としての自覚あふれる表情
- ③ 城山の金さんも時に交えて久しぶりの再会にわくわくしながら記念撮影



# 卒業生たちの成人式 涌谷第三小学校最後の



東日本大震災から2週間後の平成23年3月24日に、大きく損傷した体育館の代わりに校舎の一角で卒業式を迎えた涌谷第三小学校最後の卒業生たちが、今年成人式に臨みました。

平成23年2月27日に、歴史と伝統の幕を閉じた涌谷第三小学校。  
平成23年3月11日14時46分、その日、涌谷第三小学校最後の6年生たちは、体育館で縄跳びの練習をしていました。体育館は大きく揺れ、目の前に天井の一部が落下。恐怖のあまり多くの児童が泣きじゃくっていました。  
その2週間後の3月24日に、被災した体育館の代わりに、給食を食べるランチルーム（現給食室）で最後の卒業式を挙行。



それから約8年後の成人式当日、涌谷第三小学校に通っていた卒業生が、以前から行きたくても行けなかった現在さくらんぼこども園となっている学び舎を、成人の記念として久しぶりに訪れました。  
中学、高校と新たな環境でそれぞれ暮らしながらも、互いに安心する仲という事で、事ある毎に共に過ごしてきた8年間。  
「坂道を登り始めてからずっと興奮しっぱなしでした。そのままの所もあれば、全く変わってしまったところあって。思い出の場所を巡り、記念撮影をしながら、思い出に浸りました。  
その新成人の姿に、母親の一人、佐藤美樹さんは、「小学校時代のまま仲が良いので、大人になってからもこのまま仲良しでいてもらいたい」と思いを馳せます。  
社会人となつてからさらに絆が深まったという卒業生たち。今後、それぞれ離れて暮らしていても、涌谷第三小学校を軸とした関係を保ち深めていくことが、将来、涌谷町の地域づくりへと発展していくことが期待されます。



- ① 全校児童で給食を共にするランチルームに特設した式場で迎えた卒業式
- ② 涌谷第三小学校時代と変わらないスタンドグラス前で記念撮影
- ③ 当時の写真を眺めて思い出話に花が咲く



## 死亡事故ゼロ継続を目指し

1月4日(金)に、涌谷町役場大会議室において、涌谷町交通安全指導隊の出初め式が挙行されました。

式の冒頭、大橋町長は、「整列されている凛々しい指導隊の皆さんの姿を拝見し、より一層交通事故防止への決意を感じ心強く感じている。」

しかし、平成30年中は町内において2件の交通死亡事故が発生してしまったため、今後とも連携をとりながら交通安全啓発活動および交通事故防止に一層まい進されることを期待申し上げたい」と挨拶。

また、日野交通安全指導隊長は、「現在高齢者による交通事故、高齢者が犠牲になる交通事故が増えている。私たちは地域や現状に沿った交通指導を展開していくことが重要」と訓示されました。

遠田警察署をはじめ、交通安全団体関係者の出席のもと出初め式が行われたことで、隊員一同、気持ちを新たに無事故を誓い合いました。

平成31年1月25日時点の死亡事故ゼロ継続日数は91日。町民総ぐるみで、交通ルールを順守していきましよう。

### 平成30年 涌谷町内交通事故件数

	人身事故	死者	負傷者	物損事故
平成30年 (前年比)	30件 (-6件)	2名 (+2人)	30人 (-18人)	325件 (+13件)
平成29年	36件	0人	48人	312件



一年の無事故に対する強い気持ちが隊員の服装と表情に表れる

## 1年の無事故・無火災・無災害を祈念

# 交通安全指導隊・消防団出初式

## 火災・災害ゼロの涌谷町へ

1月20日(日)に、1年の無火災・無災害を祈念する涌谷町消防団が、涌谷町消防団世話係会と涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会とともに、出初式を挙行了しました。

式典に先立ち、月将館小学校を出発点として、若山団長を先頭に、団旗・まといを率いて会場となる勤労福祉センターまでの道のりを勇壮に部隊行進しました。

式では、大橋町長が「昨年の世相を表す漢字が『災』であったように大規模な自然災害が多発した年だった。当町では大規模災害が発生しませんでした。災害に対する備えをしていかなければならない」と告辞。

また、若山団長は「昨年に比べ火災は減少傾向にありますが、消防人として無火災・無災害を目標として、防火思想の普及に努めてまいります」と訓示。その後、表彰伝達を行いました。

来賓からの激励・祝辞の後、はしご乗りが披露され、参加者全員で一年の「無火災・無災害」を誓い合いました。

### 平成30年 涌谷町内火災件数

地区別件数		火災の内訳	
西地区	3件	建物火災	5件
東地区	4件	車両火災	1件
麓岳地区	1件	その他火災	2件
計	8件	損害額	
昨 年 比	-2件	35,808,000円	



若山団長を先頭に隊列を成して町内を行進する姿は壮観



## 平成最後の一年の幕開けを祝う 新年祝賀会を開催

1月8日(火)にわくや天平の湯小劇場を会場に、平成31年新年祝賀会を開催しました。

会には、涌谷町内をはじめ近隣市町からも、農商工金融関係者など166人が一堂に会し、平成最後の一年に向けて互いの健康と涌谷町の発展を誓い合いました。

また、アトラクションとして登米市のスコップ三味線奏者の若葉舞さんを招き、巧みにスコップを操り津軽三味線やギター風に演奏し、会を盛り上げました。



## 絆の唄声を披露 日本民謡協会賀詞交歓会で山唄を披露

1月12日(土)に、東京都の帝国ホテルを会場に開かれた公益財団法人日本民謡協会主催の賀詞交歓会において、昨年開催された第34回秋の山唄全国大会で優勝した山形県大石田町の木村里美さんが、秋の山唄PR大使として涌谷町の今野香湧氏と、木村里美さんの民謡の師である大石田町の芳賀清氏の尺八の伴奏で、民謡「秋の山唄」を披露しました。全国に向けた「秋の山唄」の普及とともに、大石田町と涌谷町の友好の絆を紹介する機会となりました。



## ご相談ください人権問題 人権擁護委員が街頭活動を実施

12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間を、人権週間と定めています。涌谷町では、12月4日(火)に人権尊重思想の普及高揚のため、人権擁護委員が街頭キャンペーンを行い、同日役場で、特設人権相談所も開設しました。

なお、毎月開設している人権相談では、身近な家庭内の悩みごとや学校でのいじめ、職場でのパワハラなど、人権問題でお困りの人の問題解決に向けて、人権擁護委員が相談をお受けします。相談は無料で、秘密厳守します。



## ごみの減量を目指して ごみの分別地元説明会を開催

12月9日(日)に、新丁頭ふれあいセンターにおいて、地域との共催によるごみ分別説明会を行いました。

当日は、2の2区の住民約150人が参加し、ごみの分別にかかわる活発な質疑応答がありました。併せて「他地区の収集では、生ごみは一晩水分を切らないと収集しない地区がある」と、参加者から町に対し提言がありました。

ごみの減量に向けて、非常に有効な生ごみの水切りを行うなど、引き続きご協力をお願いします。





涌谷町の四季を切り取る

「みちのく涌谷の四季」写真コンテスト

12月17日(月)に、涌谷町観光物産協会が2年に一度開催している「みちのく涌谷の四季」写真コンテストの表彰式が行われました。

28人67点の涌谷町の四季を切り取った力作が応募された12回目の今回は、特選として石巻市の高橋達也さんが撮影した桜まつりを楽しむ親子の作品が選ばれました。

特選をはじめとして入賞作品は今後、涌谷町の観光振興のポスターなどに使用されます。

【第12回「みちのく涌谷の四季」写真コンテスト入賞作品】



《特選「春の城山」 撮影者：高橋達也氏(石巻市)》



《入選「伝承・古式獅子舞(春)」

撮影者：熊谷利昭氏(仙台市)》

《入選「狙う眼」 撮影者：高橋成尚氏(石巻市)》

《入選「祈り」 撮影者：日野俊文氏(七ヶ浜町)》

《入選「秋のくがね庵」

撮影者：菊池永氏(東松島市)》



《準特選「桜祭りの夜」 撮影者：菊池永氏(東松島市)》

▶写真コンテストにかかわる問い合わせ先

まちづくり推進課商工観光班 ☎43-2119



一年の無病息災・家内安全を祈願

## 涌谷神社でどんと祭を開催

1月14日(月・祝)に、城山公園内野外ステージ前において、涌谷神社のどんと祭が行われました。

どんと祭に併せて遠田商工会青年部の皆さんが中心となり、小学校1年生の児童をはじめ、郵便局や金融機関の有志が裸参りを実施。

遠田商工会涌谷支部の事務所から涌谷神社までの約1.5kmの道のりを、太鼓を打つ一條裕太郎禰宜を先頭に、凍てつく寒さの中、勇壮に練り歩きました。



テキストを使わず楽しく英会話

## 涌谷町国際交流協会が英会話教室

1月7日(月)から毎週1回ずつ全4回の日程で、涌谷町国際交流協会が主催する英会話教室が行われました。

今回の英会話教室は、涌谷町国際交流協会の会員でもある雫石光由さん(プロフィールは今月号の黄金人参照)が務め、少人数制でテキストや板書がない会話を中心としたプログラムで行われました。雫石さんからの問いかけに応じるだけでなく、参加者同士でフォローし合いながら、英会話を楽しみながら理解を深めていました。



掘り起こされた  
“金にら”を輝かせたい!

株式会社いとうファームの新たな挑戦

## クラウドファンディングで金にら増産

株式会社いとうファームが涌谷町ならではの農産物として栽培する「金にら」が飲食店を中心とした増産に應えるため、12月12日(水)から1月31日(木)までの期間、インターネット上で取り組みのPRを図りながら支援を呼びかけ事業資金を募るクラウドファンディングに挑戦し、見事成功させました。今後は、今年5月頃から支援された事業資金をもとに、「金にら」専用のハウスを建設し、2020年の収穫を目指します。



自分らしく生きるための決意

## 涌谷中学校で立志式を開催

1月18日(金)に、涌谷中学校において、2年生生徒たちによる立志式が開催されました。

式では、各生徒たちが料理人や建築関係、農業、プログラマーなど、将来就きたい職業やなりたい人物像を定め、職業や人物になることでどういった自己実現を成し遂げたいのか、そのために、今すべきこととこれからすべきことを明確に理解しながら、保護者や地域の皆さんが見守る中、壇上から決意を表明していきました。